



練馬産農産物の魅力発信！ 「ねりマルシェ」を初開催！



と き 平成27年11月7日(土) 午前9時～午後2時

と ころ 練馬区立平成つつじ公園(練馬1-17-6)

7日、練馬産野菜や江戸東京野菜、旬の花や果物、練馬産野菜を使用した飲食品・加工品などの即売会「ねりマルシェ」が初めて開催され、多くの来場者で賑わった。

練馬区とねりマルシェ実行委員会の共催。(後援：東京あおば農業協同組合)

当日は、会場の平成つつじ公園(練馬1丁目)で、区内若手農家18名が20品目以上の採れたて新鮮農産物を販売したほか、都内初のワイナリー、東京ワイナリー(大泉学園町2丁目)が練馬産ぶどうを使用した「東京ワイン練馬スペシャル」、伊勢屋鈴木商店(石神井町3丁目)が練馬産ブルーベリーを使用した「練馬産ブルーベリー発泡酒」、中華 大勝軒(石神井台8丁目)が練馬産野菜をふんだんに使った「アントン餃子」などの飲食品や加工品を販売した。

来場者からは「生活直結型のこのような催しはとても便利。今後も開催してほしい」、「新鮮な野菜が目当てで来た。生産者が分かるので安心して子どもに食べさせられる」と話し、練馬初の「マルシェ」を楽しんだ。

今後の開催は、今回参加した農家と意見交換をしながら検討する。



ねりマルシェで買い物を楽しむ来場者



販売されている練馬産野菜

【開催の目的】

練馬区は、東京23区で最も都市農地が残っている(224ha)。そのため、旬で新鮮な農産物やその農産物を活用した飲食物や加工品を気軽に楽しめる環境が身近にある。

今回のマルシェは、都市農業の特色を活かした魅力の発信と農業・商業の交流の場を創出することを目的に、練馬で味わえる練馬産農産物や飲食物、加工品を多くの方にPRし、気軽に感じてもらうために開催した。

【当日の様子】

当日は晴天に恵まれ、マルシェの開始直後から、会場は多くの来場者で賑わった。前川耀男練馬区長も会場を訪れ、実際に生産農家と熱心に話をするなど、「ねりマルシェ」を存分に楽しんでいた。



ねりマルシェ全体の様子



農家の方と話をしている前川耀男練馬区長



参加した若手農家の方々

【問合せ】 産業経済部 都市農業課 農業振興係 ☎03-5984-1403